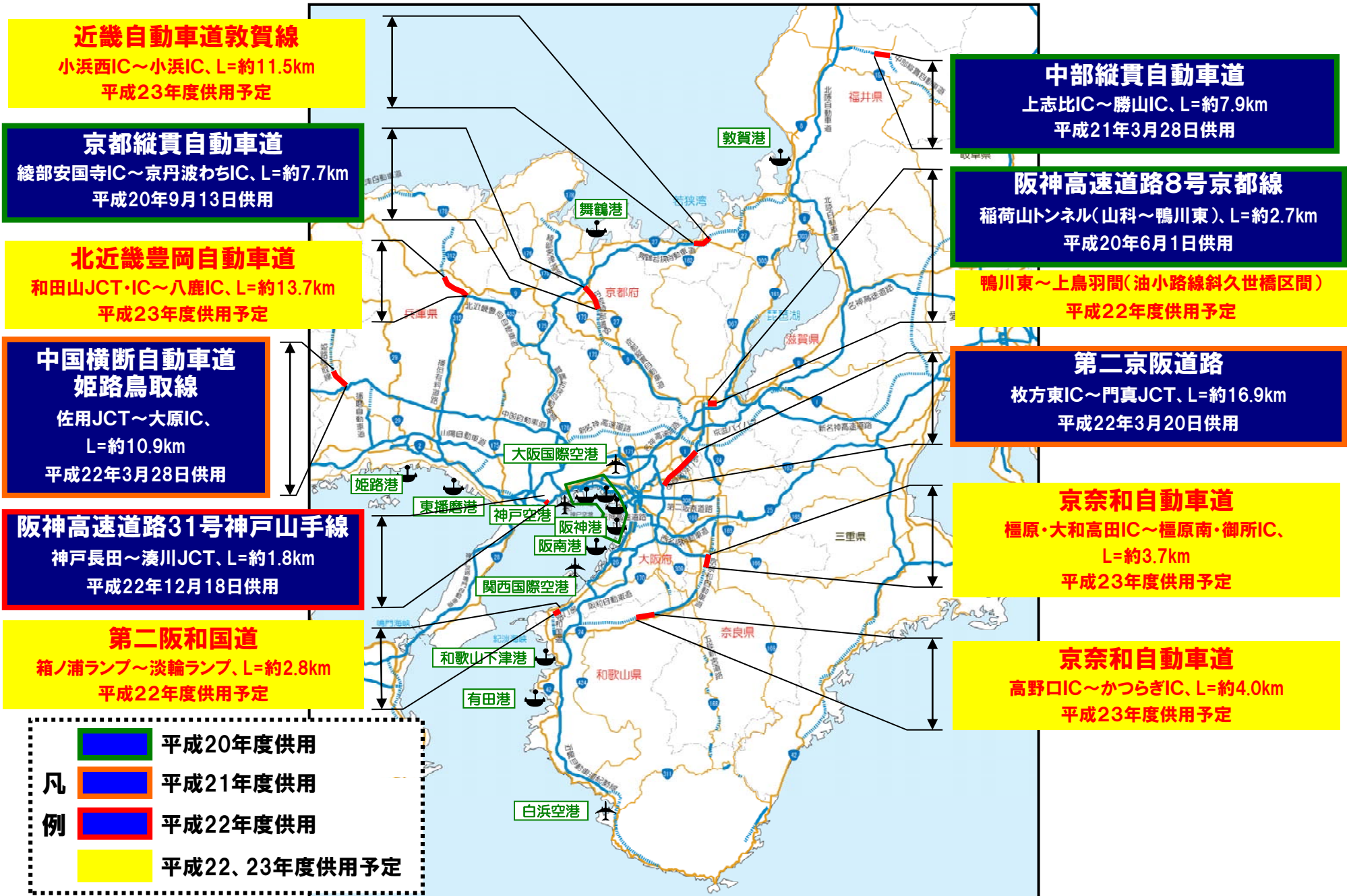


《港と道路の連携》

平成22年度
国際物流基幹ネットワークの形成
に向けた取組

高規格幹線道路等ネットワーク 平成20～23年度供用(予定)区間



大阪湾周辺地域の幹線道路ネットワーク

①淀川左岸線延伸部

- ・H6年12月 地域高規格道路の候補路線に指定
- ・H18年12月 奨励すべき計画案提言
(淀川左岸線延伸部有識者委員会)

②大阪湾岸道路西伸部

- ・H6年9月 都市計画決定(神戸市長田区～垂水区)
- ・H7年4月 地域高規格道路の整備区間に指定
(神戸市長田区～垂水区)
- ・H7年8月 地域高規格道路の整備区間に指定
(神戸市東灘区～長田区)
- ・H21年3月 都市計画決定(神戸市東灘区～長田区)

③京奈和自動車道(大和北道路)

- ・H20年3月奈良県、4月京都府 都市計画決定
- ・H21年3月 平成20年度新規事業化 6.3km
(奈良IC～大和郡山JCT)

④名神湾岸連絡線

- ・H10年12月 地域高規格道路の調査区間に指定
- ・計画段階評価着手に向け、準備中

⑤新名神高速道路(大津JCT～城陽JCT間、 八幡JCT～高槻JCT間)

- ・H3年12月 整備計画(大津JCT～城陽JCT間)
- ・H8年12月 整備計画(八幡JCT～高槻JCT間)
- ・H15年12月 抜本的見直し区間に設定
(政府与党申し合わせ)
- ・H18年2月 交通状況等を見て改めて着工の判断
(国幹会議)

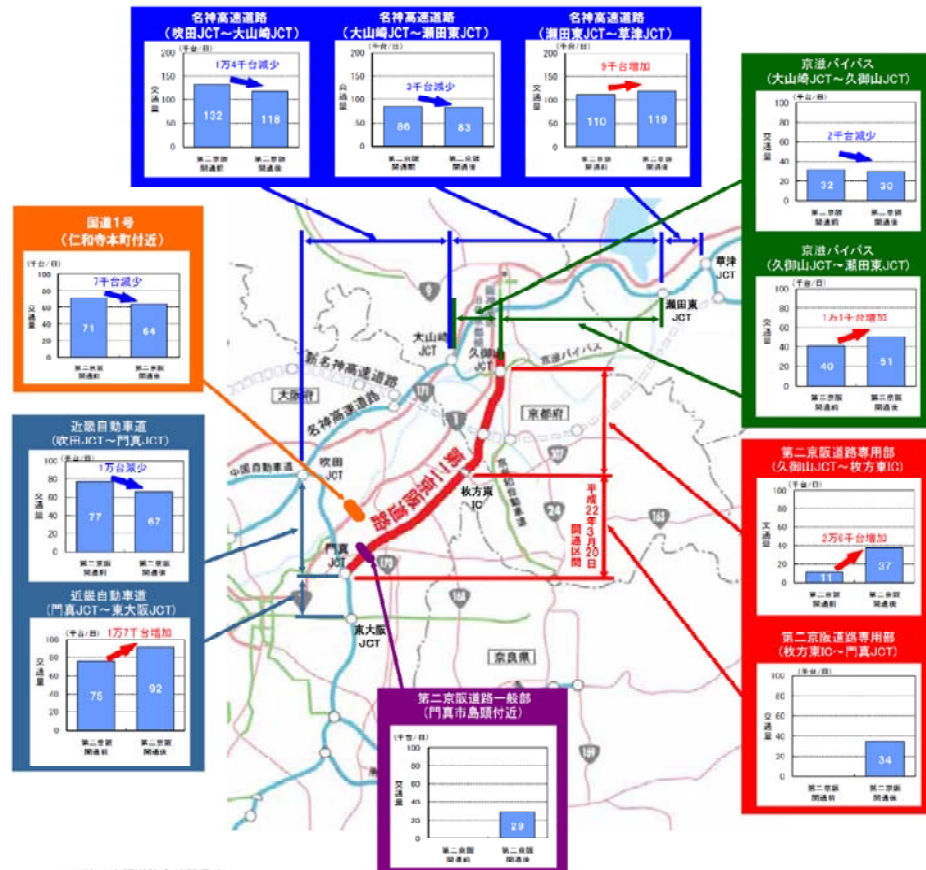


出典 国土交通省 近畿地方整備局

第二京阪道路(枚方東IC～門真JCT間16.9km)平成22年3月20日開通!!

開通6ヶ月後の交通状況の変化

- 第二京阪道路(枚方東IC～門真JCT)の交通量は、専用部で約3万4千台/日、一般部で約2万9千台/日。
- 一方、第二京阪道路に並行する名神高速道路(吹田JCT～大山崎JCT)では、約1万4千台/日減少、同じく国道1号では約7千台/日減少。
- また、第二京阪道路に接続する京滋バイパス(久御山JCT～瀬田東JCT)では、約1万1千台/日増加。



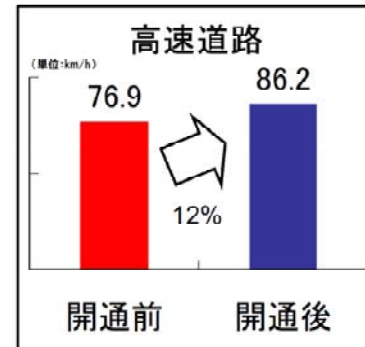
※第二京阪道路全線開通前
 第二京阪道路(専用部)・名神高速道路・京滋バイパス・近畿道 : 平成21年3月21日(土)～平成21年9月20日(日)までの日平均交通量
 国道1号 : 平成20年11月12日(水) 国土交通省調べ
 第二京阪道路全線開通後
 第二京阪道路(専用部)・名神高速道路・京滋バイパス・近畿道 : 平成22年3月21日(日)～平成22年9月20日(月)までの日平均交通量
 第二京阪道路(一般部)・国道1号 : 平成22年9月20日(水) 国土交通省調べ(速報値)

※高速道路の交通量は、交通量計測装置によるデータを速報値として記載。(加重平均)

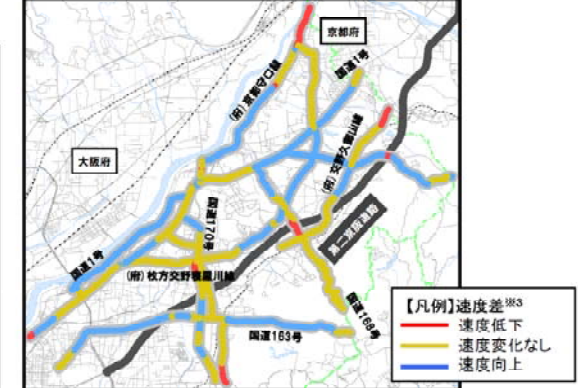
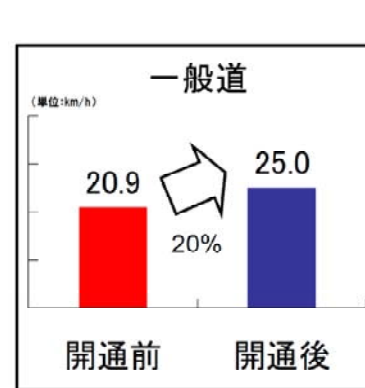
高速道路のピーク時速度が広域的に向上

- 第二京阪道路の開通後、大阪～滋賀県南部間※1の高速道路のピーク時旅行速度が、毎時77キロ→86キロへ、12%向上
- 第二京阪道路の開通後、北河内地域※2の一般道のピーク時旅行速度が、毎時21キロ→25キロへ、20%向上

■ピーク時間帯の速度分布の変化(大阪～滋賀県南部間:高速道路)(夕方混雑時(平日18時台))



■ピーク時間帯の速度分布の変化(北河内地域:一般道)(夕方混雑時(平日18時台))



※1 名神:草津JCT～吹田JCT, 近畿道:吹田JCT～門真JCT, 京滋バイパス, 第二京阪道路
 ※2 枚方市, 交野市, 寝屋川市, 西條町, 大東市, 門真市, 守口市
 ※3 速度低下:開通後に2km/h以上速度が低下 速度変化なし:開通前後の速度差が-2km/h～+2km/hの間 速度向上:開通後に2km/h以上速度が向上

◇ITSの活用で、道路整備の効果をより透明に

路線毎の「平均速度」や「自動車交通の時間損失」は、ITSを活用した新しい交通計測(プローブ・カー・システム※)によるデータ精度の向上で可能となった道路サービスの新しい評価方法です。

プローブ・カー・システム:
 実際の車をセンサー代わりに、旅行時間等の交通データを取得するシステム



国際物流基幹ネットワークの整備状況(国際コンテナ車通行支障区間)

国道250号 網干大橋(耐荷重不足)

H19年度解消済み

事業: 国道250号網干大橋
 事業期間: H16~H19
 供用: H19年7月31日
 ボトルネック解消: H19年12月

補強工事完了後の網干大橋



府道大阪中央環状線 鳥飼大橋(耐荷重不足)

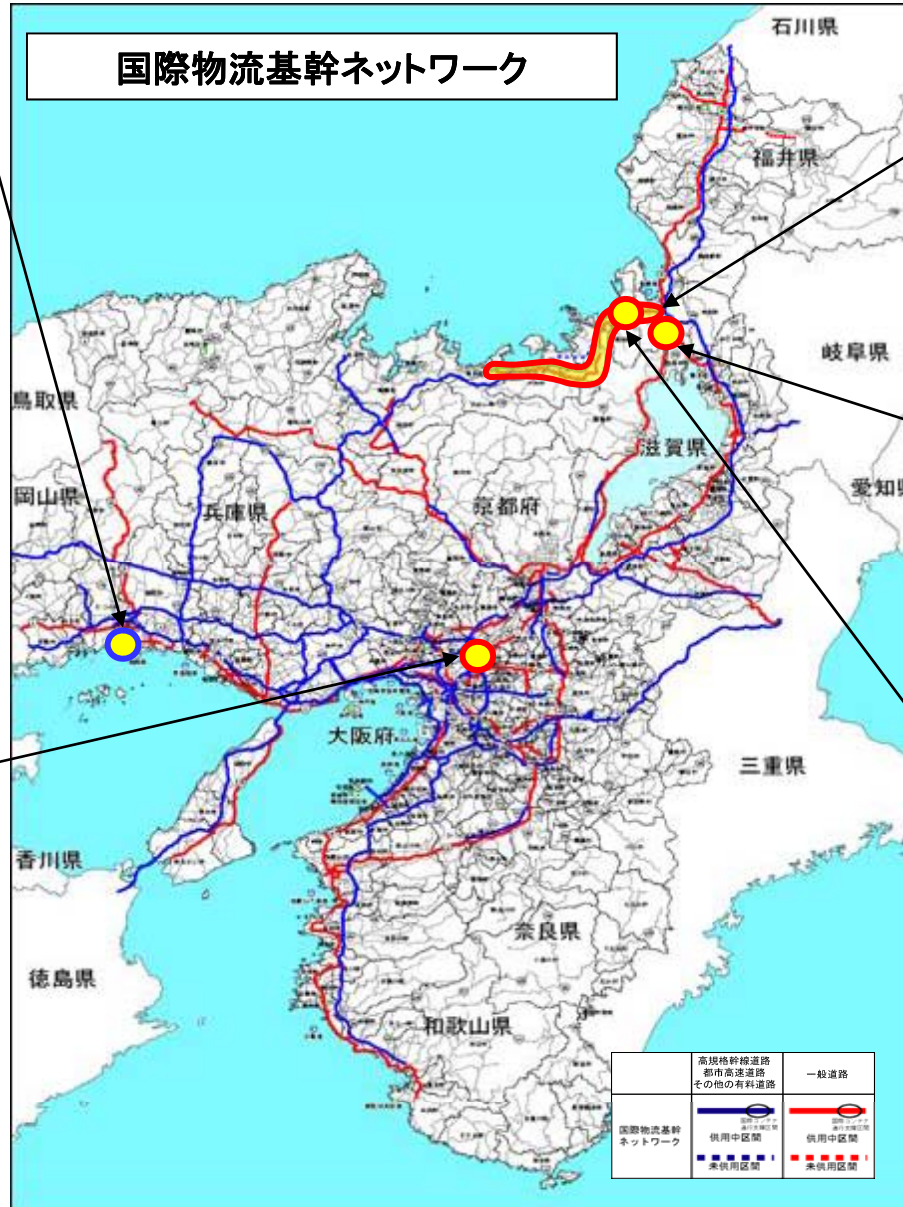
H21年度解消済み

事業: 府道大阪中央環状線鳥飼大橋
 事業期間: H13~
 供用予定: H22年2月27日
 ボトルネック解消: H22年2月
 【H23年4月 重さ指定予定】
 ※スーパー中枢港湾に係わるボトルネック箇所

鳥飼大橋



国際物流基幹ネットワーク



国道27号 後瀬山、勢浜、加斗トンネル(空間高不足)

事業: 近畿自動車道敦賀線
 事業開始: H8~

国道161号 疋田トンネル(幅員狭小)

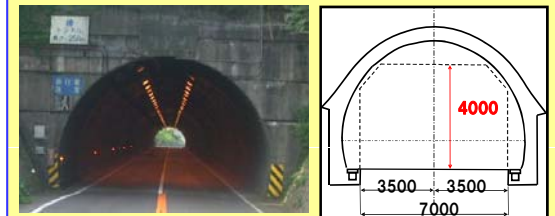
事業: 国道161号愛発除雪拡幅
 事業開始: H15~

国道27号 椿トンネル(空間高不足)

H20年度解消済み

事業: 国道27号美浜東バイパス
 事業開始: H3~
 供用: H21年3月29日
 ボトルネック解消: H21年3月

椿トンネル北側



都市内物流の効率化 (東大阪FQP協議会によるアクションプランの作成と実現に向けた取り組み)

大阪府: 物流集積地における貨物車交通に関する課題解消(東大阪FQP協議会)

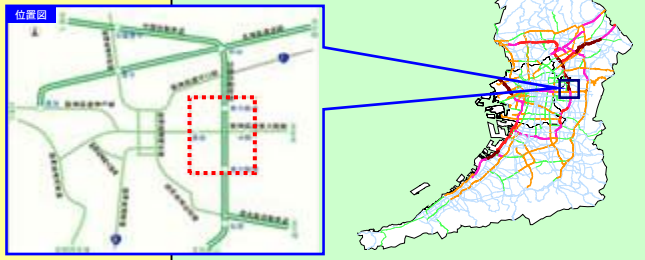
■取り組みの内容

施策の背景・目的

東大阪流通業務地区及びその周辺では、貨物車の荷待ちや休憩など路上駐車が日常化し、交通安全や地域環境への悪影響を与えている。このため、行政や警察、荷主、運送事業者など幅広く地域の関係者が連携し、物流集積地区における貨物車交通に関連する課題の解消に向けて取り組むため「東大阪FQP協議会」を平成18年11月に設置。

施策の内容

◆東大阪流通業務地区の位置図

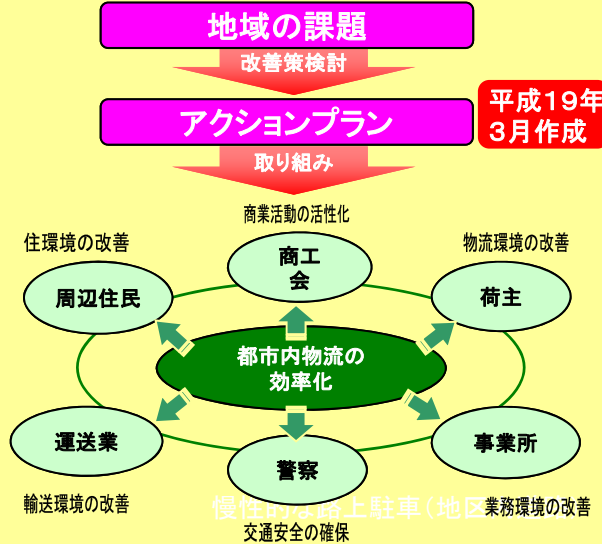


課題

■貨物車等の路上駐車が慢性化し、生活環境の悪化等、地域に課題が存在



パートナーシップによる取り組み



車線減少を継続中



○違法駐車を抑制するため、片側4車線の内、中央分離帯側の1車線を規制

マナーアップイベント



○路上駐車が日常化している東大阪流通業務地区内において、府警本部及び所轄警察署と連携し、路上駐車マナーアップキャンペーンを実施

アクションプランの概要

関係者が諸課題の解決を目指し自主的に取り組むことができる施策

- | | | |
|----------------|---|--------------------------------|
| 1. トラックの路上駐車解消 | → | ・東大阪物流パークの整備
・駐車休憩スペースの情報発信 |
| 2. マイカーの路上駐車削減 | → | ・指導、啓発活動
・規制強化 |
| 3. 走行ルートマネジメント | → | ・生活道路への流入抑制
・地区へのアクセスルートマップ |
| 4. 地区の環境改善 | → | ・緑化、美化活動
・アイドリングストップ |

物流パークの状況

■中環東大阪休憩所(北行) ■中環東大阪休憩所(南行)
・物流パークとして、主にトラックを対象とした駐車休憩施設を整備(大阪府)
・両休憩所の不適切利用を防止するため、所轄警察署及び管理者による巡回を実施。



H21・H22取り組み状況

- | OH21年度の取り組み | OH22年度の取り組み |
|---------------------------------|---------------------------------------|
| ・車線減少社会実験による効果検証
⇒車線減少継続実施中 | ・マナーアップイベント
・トラックドライバーへの情報提供に関する検討 |
| ・中環東大阪休憩所(南行)リニューアル工事(大型車駐車枠増設) | |

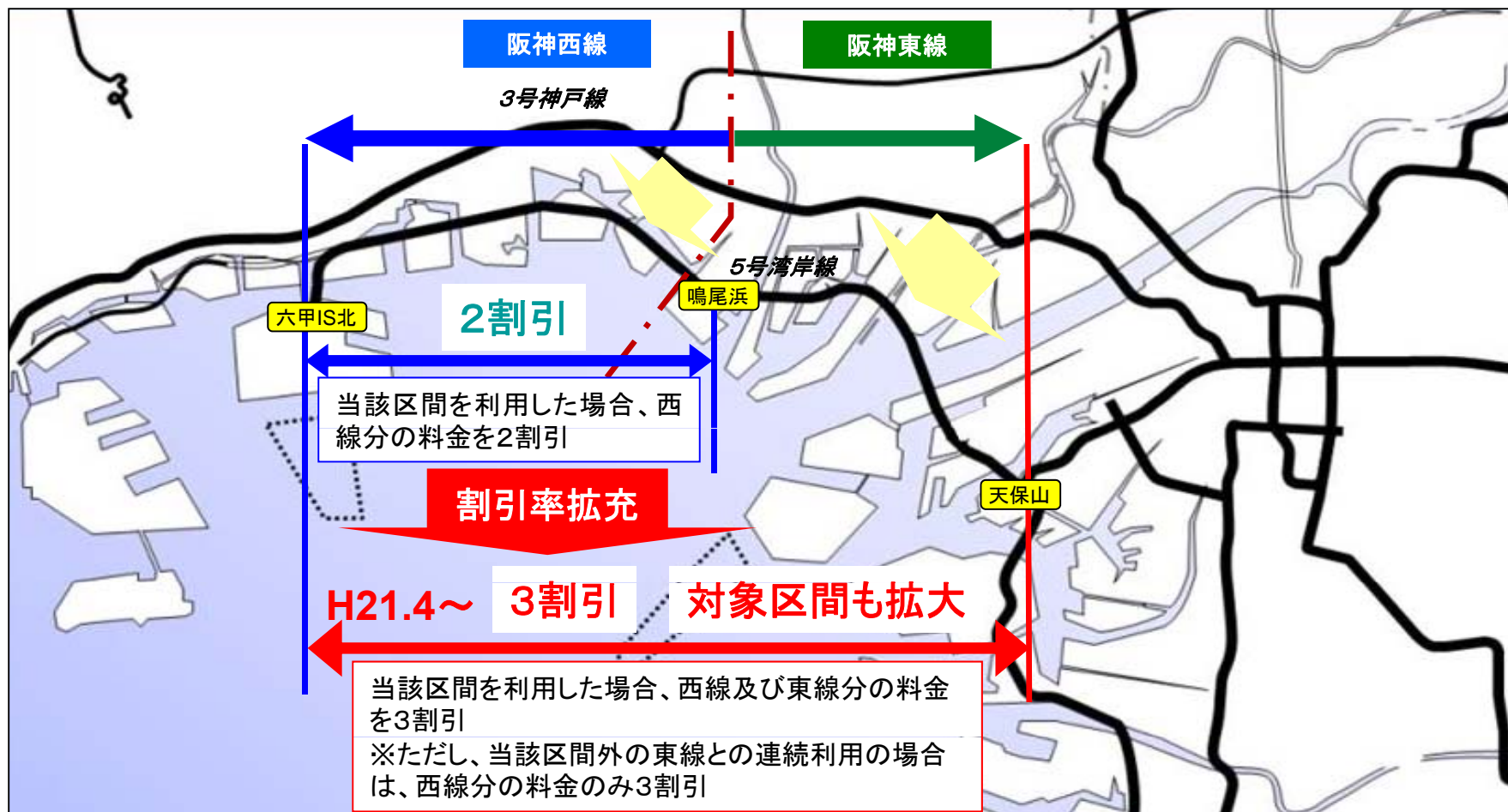
阪神高速の環境ロードプライシング

3号神戸線及び国道43号の沿道地域の環境改善を図るための環境ロードプライシング(大型車対象)について、H21.4から割引率・対象区間を拡充。更にH22.3から対象車両を拡大(普通車の一部)。

割引率: 2割引 → 3割引

対象区間: 六甲IS北～鳴尾浜 → 六甲IS北～天保山

対象車両: 料金大型車 → 料金大型車 + 料金普通車の一部



※国費で行う湾岸線全体の迂回誘導割引(湾岸線連続利用割引、平日時間帯割引、土曜・休日割引)等を併用することで、約5割引になる。

関空連絡橋の通行料金引き下げ

NEXCO西日本は、関西国際空港連絡橋の引継ぎと同時に料金を値下げし、さらに、ETC車を対象に期間限定で「移管特別割引」(通勤割引・深夜割引)を実施。

- ・料 金 ⇒ 普通車の場合、従前1,500円 → 新料金800円
※移管特別割引(通勤割引400円、深夜割引550円)
- ・割引期間 ⇒ 移管 ~ H23. 3末

関西国際空港連絡橋をご利用の皆様へ

平成23年3月末まで(※)、ETC移管特別割引(深夜割引・通勤割引)を継続いたします。

関西国際空港連絡橋は平成21年4月29日からNEXCO西日本の管理となり通行料金が値下げされました。さらに平成22年6月末までの予定でETC車を対象に「移管特別割引」(深夜割引・通勤割引)を実施していましたが、平成23年3月末まで(※)継続することになりました。

(※)ただし、今後料金の割引制度が見直された場合は、期限前に終了することもありますので、ご了承ください。

ETC無線走行で、「通勤割引」や「深夜割引」が適用になり、さらにお得です。



車種区分	従来料金 (~H21.4.28)
軽自動車等	1,200円 (休日1,000円)
普通車	1,500円 (休日1,000円)
中型車	1,800円
大型車	2,700円
特大車	4,700円

関西国際空港連絡橋 料金		
通常料金 (H21.4.29~)	移管特別割引 (平成23年3月末まで(※)期間限定)	
	通勤割引 (最大5割引)	深夜割引 (最大3割引)
600円	300円	400円
800円	400円	550円
1,000円	500円	700円
1,300円	650円	900円
2,200円	1,100円	1,550円

- ◆通勤割引は料金所を午前6時~午前9時、または午後5時~午後8時までの間にETC無線通信により通行した場合に適用されます。なお適用は朝夕それぞれ1回限りです。
- ◆深夜割引は料金所を午前0時~午前4時までの間にETC無線通信により通行した場合に適用されます。
- ◆各割引の適用時間帯は裏面《割引時間帯早見表》をご参照ください。
- ◆マイレージ割引の適用もあります。ご利用金額50円につきNEXCO西日本のマイレージポイントを1ポイント付与いたします。(事前のご登録が必要です)
- ◆従来の回数券・割引券などは一切使用できませんのでご注意ください。

■ 関空連絡橋の割引時間帯早見表 (全車種共通)

割引率	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	0	1	2	3	4	5	
50%																									
30%			通勤割引										通勤割引										深夜割引		

■ ご利用例

吹田IC → (近畿道・阪和道) → 泉佐野J → (関空道・関空連絡橋) → 関西国際空港ICをETCでご走行の場合(普通車)

料金所	吹田 (近畿道)	岸和田本線 (阪和道)	泉佐野本線 (阪和道・関空道)	関西国際空港 (関西国際空港連絡橋)	合計
通常料金	500円	500円	750円	800円	2,550円
1 平日 (夜日を除く)	通過時間 7:00 割引料金 500円	通過時間 7:40 割引料金 500円	通過時間 8:00 割引料金 400円 (通勤割引)	通過時間 8:10 割引料金 400円 (通勤割引)	1,800円 ETCご利用で 750円 おトク!
2 土曜日	通過時間 16:30 割引料金 350円 (休日特別割引)	通過時間 17:10 割引料金 350円 (休日特別割引)	通過時間 17:30 割引料金 400円 (休日特別割引)	通過時間 17:40 割引料金 400円 (通勤割引)	1,500円 ETCご利用で 1,050円 おトク!
3 日曜日	通過時間 10:00 割引料金 350円 (休日特別割引)	通過時間 10:40 割引料金 350円 (休日特別割引)	通過時間 11:00 割引料金 400円 (休日特別割引)	通過時間 11:10 割引料金 800円 (休日特別割引)	1,900円 ETCご利用で 650円 おトク!

■ 関空連絡橋へのアクセス



高速道路の有効活用・機能強化について(1)

「高速道路の有効活用・機能強化に関する計画」に基づき、以下の取り組みを実施中。

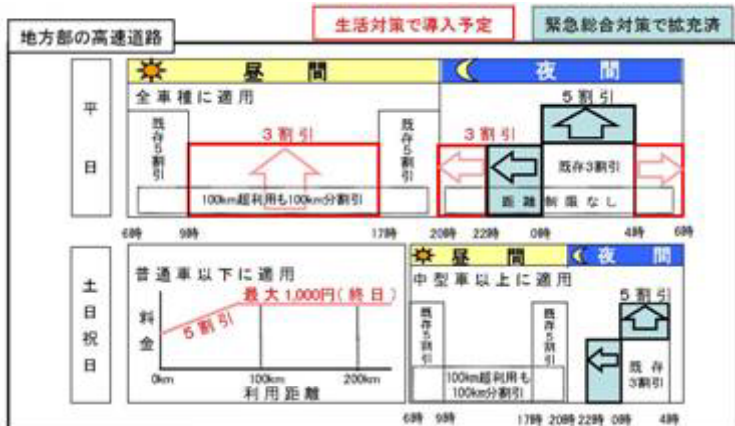
①「生活対策」として当面平成22年度までの取り組み

- ・地方部高速道路で、平日の全時間帯に3割引、土日祝日、乗用車は終日5割引で上限料金1,000円
- ・都市高速道路で、土休日、全時間帯500円(阪神高速東線)等

②高速道路の有効活用・機能強化を図るための約10年間の取り組み

- ・「安心実現のための緊急総合対策」として講じた措置の効果的な運用(実施中)
- ・大都市圏の料金施策(環状道路への迂回誘導等)、一般有料道路、特別料金区間等において利用転換を図る引き下げ等
- ・スマートインターチェンジの増設

【生活対策期間中における高速道路料金引下げ概要】



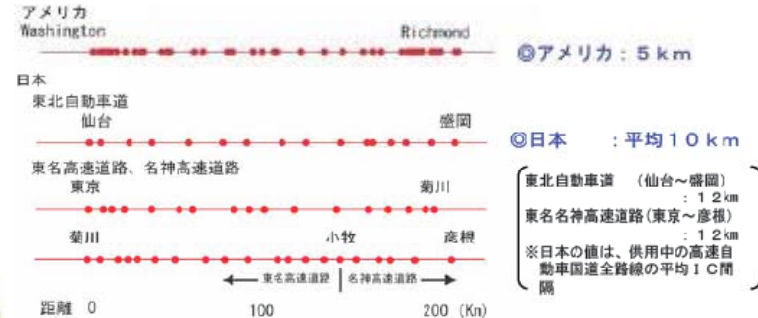
「高速道路の有効活用・機能強化について」
(平成21年1月16日国土交通省道路局記者発表資料より)

【京阪神都市圏の料金施策について】



【スマートインターチェンジの増設】

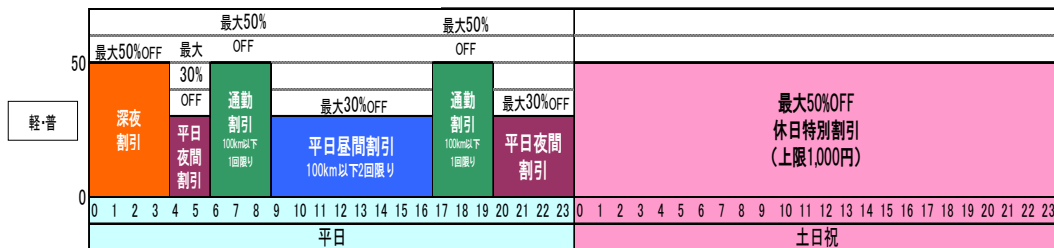
・将来的に高速道路の平均インターチェンジ間隔を欧米並の約5kmに改善することを念頭にして、当面、概ね200箇所以上の整備を目指す。
(対象道路: 高速道路等、本州四国連絡道路)



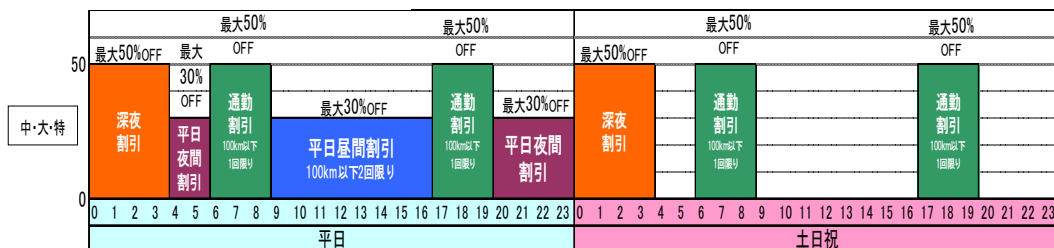
高速道路の有効活用・機能強化について(2)

【生活対策期間中における高速道路料金引下げ内容】

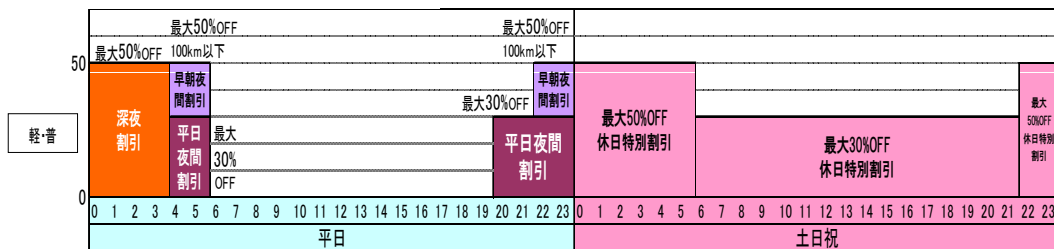
■ 地方部(普通車以下)



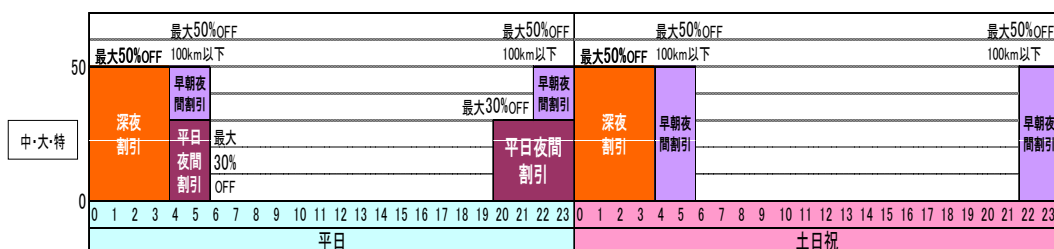
■ 地方部(中型車以上)



■ 大都市近郊(普通車以下)

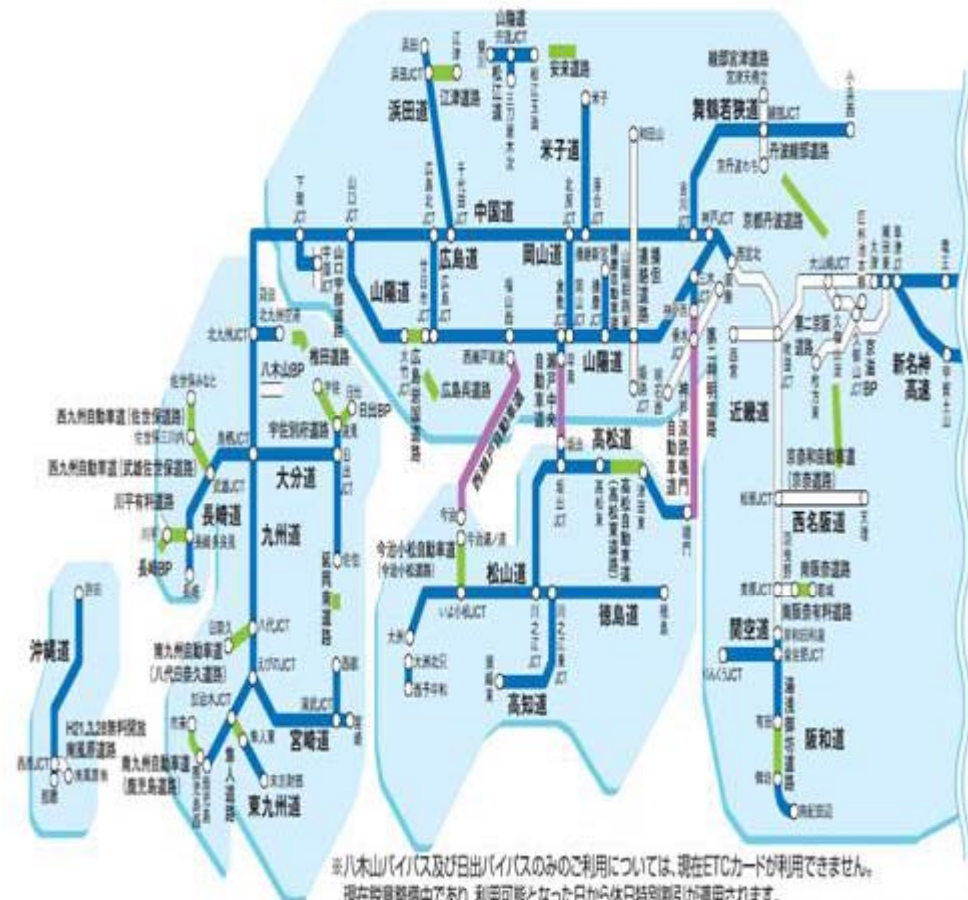


■ 大都市近郊(中型車以上)



大阪・東京近郊以外の適用区間(最大5割引または上限1,000円)

- 休日特別割引(最大5割引または上限1,000円)が適用される高速国道
 - 休日特別割引(最大5割引または上限1,000円)が適用される一般有料道路
 - 休日終日割引が適用される本州四国連絡高速道路(株)が管理する有料道路
 - 休日特別割引(最大5割引または上限1,000円)が適用されない大都市近郊(大阪近郊)区間・一般有料道路・他会社等が管理する主な有料道路
- ※大都市近郊(大阪近郊)区間は最大3割引または最大5割引の割引が適用されます。



※八木山バイパス及び日出バイパスのみのご利用については、現在ETCカードが利用できません。
現在鋭意整備中であり、利用可能となった日から休日特別割引が適用されます。
※本州四国連絡高速道路(株)の休日終日割引は右記のホームページをご覧ください。<http://www.jb-honshi.co>

高速道路の有効活用・機能強化について(3)

「高速道路の有効活用・機能強化に関する計画」に基づき、
 平成21年6月 新規スマートインターチェンジ連結許可
 (滋賀県2箇所、兵庫県1箇所、奈良県1箇所)



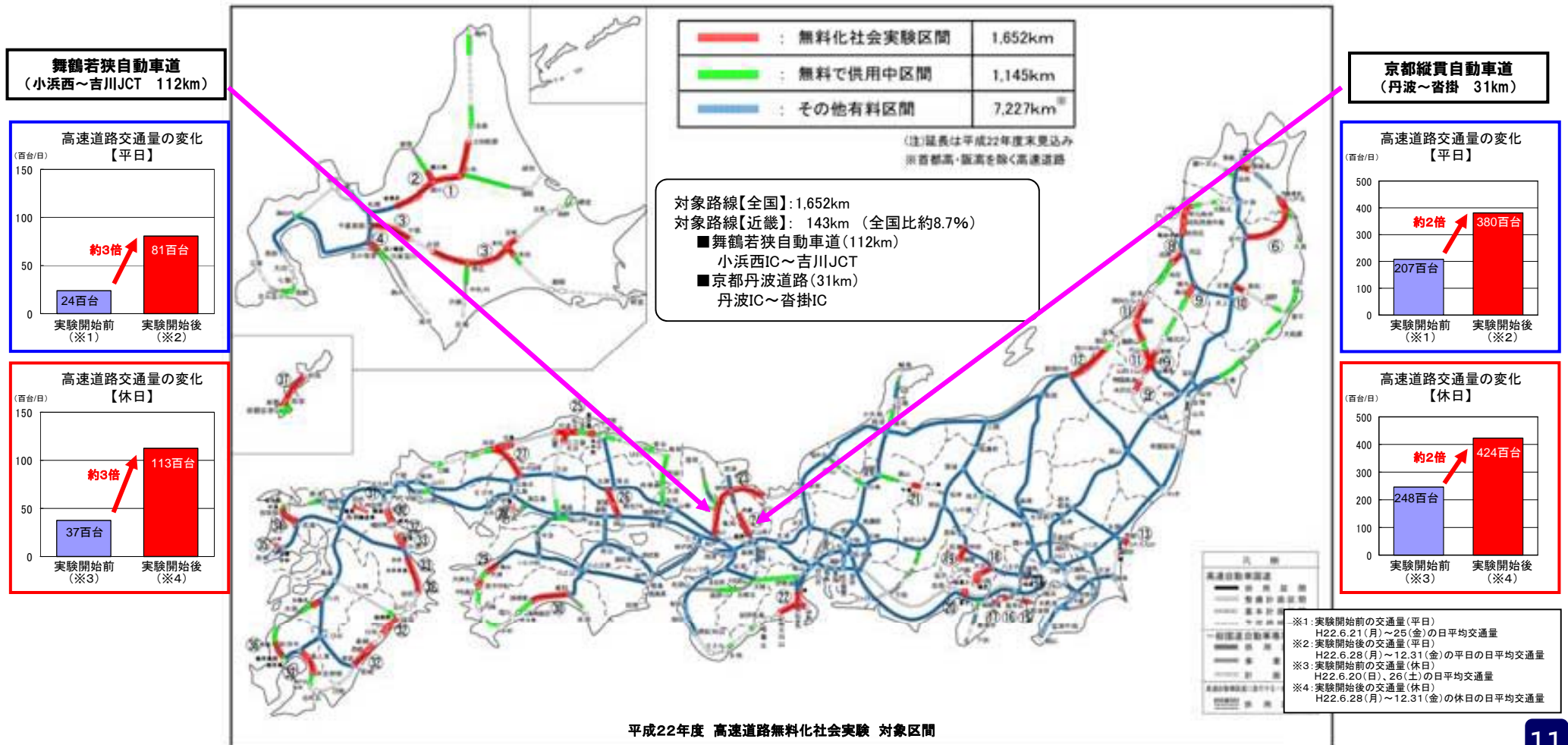
平成22年度 高速道路無料化社会実験計画について

1. 概要

- ・流通コストの引き下げを通じた生活コストの引き下げや、地域と経済の活性化を目的として、
- ・高速道路の原則無料化の方針のもと、社会実験を通じて影響を確認しながら、平成23年度より段階的に無料化を実施
- ・平成22年度より高速道路無料化の地域経済への効果、渋滞や環境への影響を把握することを目的とした社会実験を実施

2. 実験内容

- (1) 対象区間 下図のとおり
- (2) 対象車両 全車種(現金利用者を含む)
- (3) 実験期間 平成22年6月28日～平成23年3月末日



平成22年度 高速道路無料化社会実験 対象区間